

令和3年度Sport in Life推進プロジェクト
(ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業)

－スポーツのチカラ×地域課題の解決－
コロナからの復興『no rain no rainbow』
ダンスムービープロジェクト

令和4年2月18日

孺恋村



Sport in Life

令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体
 婦恋村

事業タイトル
 -スポーツのチカラ×地域課題の解決- コロナからの復興『no rain no rainbow』ダンスムービープロジェクト

構成団体 ※コンソ加盟団体	鹿児島県知名町※、婦恋村キャベツリズム研究会※、NPO法人沖永良部スポーツクラブELOVE※（構成団体以外の連携団体）一般社団法人婦恋村観光協会、株式会社アストラカン、株式会社ルネサンス※
対象テーマ	①子供 ②中高生 ③ビジネスパーソン ④女性 ⑤コロナ禍 全て
実証フィールド (地域)	群馬県婦恋村、鹿児島県知名町

事業内容サマリ

コロナからの地域復興をテーマに、「ダンスムービーで地域を元気に！」を合言葉にしながら、音楽アーティストHYより楽曲提供してもらった「no rain no rainbow」を用い、地域オリジナルの「ダンスムービー」を地域住民とともに企画・制作し、普及を行う。これにより、ダンスというスポーツのチカラを活用しながら地域の復興に向けた機運醸成を図るとともに、自分たちで発案したご当地ダンスを楽しみながら実施することで、スポーツ機会の増加と健康度の向上が期待できる。

ターゲット

●本増加方策のターゲット

フィールド	婦恋村	知名町
ターゲット	婦恋村在住・在勤の全ての住民 9,413人 (令和3年3月)	知名町在住・在勤の全ての住民 5,739人 (令和3年6月)
参加者目標	500人	220人

●ターゲットのスポーツ実施を促すポイント（仮説）

①多様な世代が一緒に参加できる

新たなスポーツ実施環境づくり

企画・制作のプロセスを多様な世代と一緒に共有することで、主体的な参加意識の醸成と気軽にみんなで楽しめるというスポーツの楽しさを身近で実感してもらうことで、行動変容を図る。

②地域の歴史・文化・環境を活かし共感を生む地域オリジナルコンテンツの作成

地域の歴史・文化・自然・人など地域特性を踏まえたムービーにすることで、シビックプライドを刺激し、地域のシンボリックな活動の一つとして普及啓発を図る。

事業の実施概要

【実施目的・概要】

本事業では、コロナからの地域復興をテーマに、「ダンスムービーで地域を元気に！」を合言葉にしながら、音楽アーティストHYより楽曲提供してもらった「no rain no rainbow」を用い、地域オリジナルの「ダンスムービー」を地域住民とともに企画・制作し、運動実践の普及・啓発を行う。これにより、スポーツのチカラを活用しながら多様な世代の巻き込みや、地域資源を活用した取組にしていくことで、主体的な参加意識の醸成と、気軽にみんなで楽しめるというスポーツの楽しさを身近で実感してもらう機会を獲得し、スポーツ実施者を増やしていく。

【実施内容】

①地域の健康ダンスを考えるワークショップの開催

住民を巻き込んだワークショップを開催し、地域の文化・歴史・自然・産業・人などの特性を盛り込んだ、「地域オリジナルダンス」を考案する。ワークショップは、2地域をオンラインでつなぎ、各地域のプレゼン大会も行って住民同士の交流も図った。ダンスのプログラムは、健康増進・トレーニング実施効果などの要素を踏まえたものになるよう、専門家の監修も行いながら制作した。

②考案ダンス練習会の実施

考案したダンスを踊れるようにするための練習会を開催する。既存のコミュニティやグループ、部活、企業の始業時の運動、学校・幼稚園の運動会など、日々の取組の1つとしてオリジナルダンスを取入れ、実施してもらった。

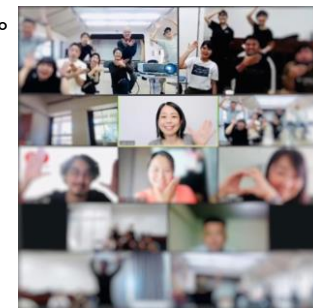
③ダンスムービー撮影

考案したダンスを住民が参加して踊るムービーを婦恋村、知名町それぞれの地域特性が伝わる場所などで撮影。



④ダンスムービー動画配信のSNSによる拡散

各地域で制作した、それぞれの「コロナからの地域復興ダンスムービー」をYouTubeにアップ。同時に実施した各地域の動画もそれぞれの地域に紹介し、地域間の連携や相互再生を促す。



令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

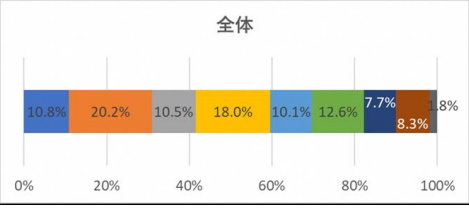

代表団体
婦恋村

事業タイトル
- スポーツのチカラ×地域課題の解決 - コロナからの復興『no rain no rainbow』ダンスムービープロジェクト

効果検証の方法と結果

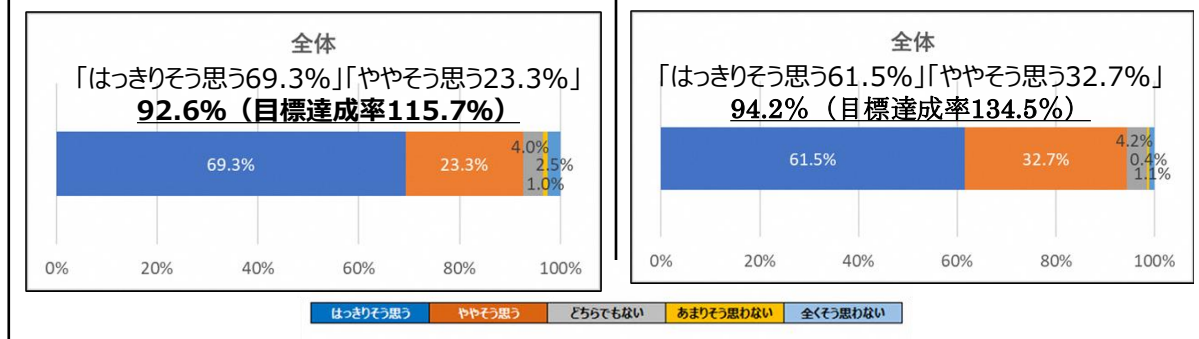
実施自治体	スポーツ実施 (参加者目標)	スポーツ実施意欲・実施率の向上 (参加者アンケート)
婦恋村	500人	【17歳以下】 「ダンスが楽しいと感じた」と回答した割合を 80%
知名町	220人	【18歳以上】 「もっとやりたいと思う」の回答が 70% (現状51.7%) を目標。

【結果】

結果項目	地域	結果	属性 (年代)
参加者数	婦恋村	515人 (目標達成率103%)	
	知名町	234人 (目標達成率106%)	
アンケート有効回答数	婦恋村	431件	
	知名町	234件	

【17歳以下】ダンスが楽しいと感じた

【18歳以上】もっとやりたいと思う



結果に基づく要因の分析 (仮説検証)

【評価ポイント】

①地域住民の巻き込み効果

運動・スポーツ無関心層や未実施層の行動変容のきっかけ作りとして、まずは住民を巻き込んだワークショップを開催し、地域の文化・歴史・自然・産業・人などの特性を盛り込んだ、「地域オリジナルダンス体操」を考案した。ここでの口コミ効果もあり、ムービー撮影への参加につながった。

②シビックプライドを活かした地域オリジナルのダンス体操ムービーによる波及・拡充効果

地域特性を入れ込んだムービーにすることで、シビックプライドを活かしたダンス体操ムービープログラムの構築ができた。今後も地域内でも観光や産業などとも絡めながら、積極的に活用されることでスポーツ機会の拡充にもつなげていくことができる。

③「踊り・ダンス」の文化的親和性

地域に根付いた「踊り・ダンス」という文化をスポーツという視点でも捉え、ダンスを通じたスポーツ実施率の向上と、地域の伝統文化を継承するという2つの目的を融合させながら、多世代かつ生涯にわたって取り組める生涯スポーツ実践の環境づくりにつながる取り組みとなった。

【課題・反省点】

人口減少時代の地域コミュニティ

今回の事業において、下は幼稚園児から上は80代の高齢者まで、幅広い世代の方に参加してもらえたことは大きな成果であると同時に、こういう多世代交流型のコンテンツが、地域コミュニティに求められていることが顕在化したと感じている。今回の事業のような、ターゲット横断型の多世代コミュニティのコンテンツの継続が今後の課題と言える。

今後の展開

【評価ポイント】

①地域健康ダンス体操としての住民への周知 (事業継続)

自走できる取り組み施策として、情報の一方的な提供に留まらず、ターゲット世代別にイベントや集会、会議、事業所訪問などをきめ細かく行っていく。

②他地域への波及 (横展開)

H Yの楽曲「no rain no rainbow」を活用した「ご当地ダンス体操ムービー」による地域復興の取り組みを、関係機関とも連携を図りながら全国へ発信していきたい。

完成したダンスムービー

【婦恋村Ver.】



【知名町Ver.】